

一般質問発言通告書

議席番号 21 番 氏名 川神 裕司

答弁を求める者

 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 政策決定におけるプロセスのあり方と組織改革について

(1) 政策決定に至るまでのプロセスと住民意見反映について

- ① 今までの政策立案から実行までのプロセスの中で、庁内プロジェクトチームや外部検討委員会等様々な検討手法がとられているが、手法選択の基準について問う。
- ② 本来計画立案時から市民の意見を反映させるシステムが必要なはずだが、最近の方針決定がなされた後に市民へ情報提供されているのではないか。市民主体のまちづくりを進めるためにはいかに市民の視点を反映させる仕組みを作るかだが所見を問う。

(2) 政策決定におけるコンサルの活用実態と活用の考え方について

- ① 今まで政策決定や方針を模索するためのアンケート調査等、相当数のコンサル活用があったと認識している。最近のコンサルを活用した案件と金額について実態を問う。
- ② 政策立案等においてコンサルを活用するか否かはどのように決定しているのか。コンサル活用の経費は相当高額と認識しているが、その活用基準に関しての考え方を問う。

(3) 住民意見を反映し職員のモチベーションが上昇する組織改革について

- ① 市政発展のための政策立案・実現のためには市民の意見反映が円滑に行われる仕組み作りは当然、職員のモチベーション向上が極めて重要である。しかしながら本年度を振り返っても中堅職員の離職が目立つがこれをどう受け止めているか市長の所見を問う。
- ② 職員のモチベーション低下の要因については、定量的な問題として「過度の仕事量」があるのではと考えられ、過度の仕事量を是正するためには業務改善が重要である。特に全庁的に効果が及ぶ業務改善としては会計事務があるのではないかと考える。会計事務の業務改善の取組状況を問う。
- ③ 職員のモチベーション低下の定性的な問題として「職員の意見反映」があり、政策・施策に職員の経験や所見を活かすことができる組織改革はモチベーションアップに寄与するのではと考える。「職員提案制度」等により職員の意見を吸い上げると共に、風通しの良い組織への改革を目指すべきと考えるが所見を問う。

2 今後の芸術文化活動の推進について

(1) 浜田市の誇る文化資本の活用の現状と取組について

① 石見神楽、石州半紙、北前船寄港地保存活用の取組状況について

石見神楽・石州半紙・北前船寄港地はいずれも観光戦略としても芸術文化の観点からも極めて重要なコンテンツである。インバウンド施策推進の観点からも、それぞれの保存活用戦略は計画的に進行しているのか市長の所見を問う。

② 「ふるさと教育」推進のため「石見神楽」の教育カリキュラムへの導入について

現在石見神楽振興において、石見神楽蛇胴以外の神楽ものづくり技術に対する文化財指定早期指定や各神楽団体の抱える後継者育成問題等、課題は山積である。実は石見神楽振興議員連盟の事業として、エリアごとに神楽団体へのヒアリングを精力的に実施してきた。その中で若手から、様々な意見が出されたが、浜田愛を養うためにも子供たちの教育に石見神楽の要素を取り入れるべきとの意見が多かった。石見神楽の教育カリキュラムへの導入は有効であると考えますが教育長の所見を問う。

(2) 「郷土資料館・神楽伝承施設」の整備方針と課題について

① 郷土資料館と石見神楽伝承施設の一体的整備の政策形成の過程について

郷土資料館の建て替え事業として既存の施設とのコラボの方針は認識しているが、今後検討に上がる石見神楽伝承館との合築の方針は予想外である。合築に至った検討経過を問う。

② 施設整備と設置場所に関する最終決定に伴う決定プロセスの可視化について

現在市民は郷土資料館・神楽伝承館合築施設として、三桜酒造跡地設置が濃厚ではないかと感じている。設置場所は今後の検討を踏まえ決定とのことだが、今後決定に関しては、市民の意見の反映と決定経緯の市民への可視化は大切なことと考えるが市長の所見を問う。